

今を未来に

連絡表の見方について 保々小学校ではこう考えています。

連絡表をつける時、どの学年も評価基準を持っています。評価基準には、どんなことで、どこまでできたら◎にする、○にする・・・ということが書かれています。

そうした評価基準を学年で決めるに当たって、学校の基本的な考えとして以下のようなことを決めています。

【学習の様子】について

1年生：○=できました △=もう少し

到達目標のおおむね80%以上達成しているときは「○」がつきます。

2年生以上：◎=よくできました ○=できました △=もう少し

到達目標のおおむね90%以上達成しているときに「◎」がつきます。

おおむね**70%以上**達成しているときは「○」がつきます。

ただし、項目によって・学年によって、到達目標が上下することがあります。テストの点数だけでつけることがないからです。

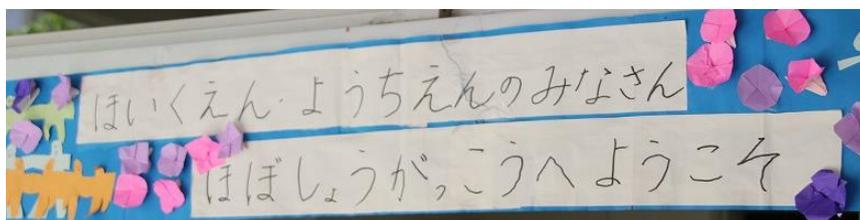
本校では、3年前に上記のように評価基準を見直しました。そのきっかけは、①学力・学習状況調査や到達度検査（当時はCRT検査・現在はNRT検査）を通して点数に表れる評価が全国平均を下回る状況にあったこと、②今までの評価基準では2年生の評価基準が1年生の評価基準より20%甘くなってしまう、学習評価がどう上がったのか伝えにくい状況にあったこと（できるの評価基準が1年生が80%で、2年生が60%であったため）、③学校づくり協力者会議（現在の学校運営協議会）で中学校から見た時に評価基準が甘すぎるのではないかと意見をいただいたことにありました。また、中学校へ進学した生徒の保護者から「小学校の成績は全部○以上だったのに、中学校では5段階評価で2がつくことがある。なぜ？」と聞かれたこともありました。

学力・学習状況調査や到達度検査の結果分析については、2学期のはじめにお示ししますが、全国平均に対して、その差を詰めている学年がほとんどで、平均を上回っている学年もあります。点数比べが目的ではありませんが、結果が良い方向に出てくると、やはり嬉しいという気持ちにはなります。

今日から個別懇談の時間をとっていただき、連絡表をお渡しします。連絡表は、お子様のがんばれたところをお伝えするために、そして、私たちの授業づくりが子どもたちの力にどう結び付いたかを振り返るために、毎学期ごとにつけています。今まで通り、テストの点数だけで到達度を決めたりはしません。宿題などを毎日取り組めたか、自主学習にどの内容でどの程度取り組めたか、ノートや日記などに習った漢字が使われているか、授業中の発言回数やその内容などを加味して評価をしています。また、連絡表は担任や専科の教員から見えていることを元にして評価します。そのため、お子様の頑張っている所を精一杯知らせたいと思って、いろいろな記録をとり、評価をするのですが、全てではありません。

せん。◎や○などの記号では表すことができなかつたお子様一人ひとりの頑張りがそこにはあります。お家の方から連絡表を渡してもらう時に、私たちには見えていなかった頑張りの部分を、是非励ましの言葉とともに、お子様に伝えてあげてください。よろしく願いします。

7月11日（火） 1年生と保々保育園・ 保々幼稚園の年長さん の交流会がありました。



1年生がこの保々小学校に入学して、3ヶ月が過ぎました。今年の1年生は、通学班で登校することを頑張っています。また、1学期の間、上級生の子に負けないぐらい学校を休みませんでした。とっても素晴らしいことです。

その1年生が、保々保育園・保々幼稚園の年長さんを招待して、交流会を持ちました。1年生の子の中には、ちょうど1年前に今の2年生の子に招待してもらって、交流会に来たことを覚えていた子もいたと思います。「今度は自分たちが招待をする番！」そんな気持ちが伝わってくる交流会でした。

まず、司会の人から「はじめまして。ほいくえん・ようちえんのみなさん、こんにちは。みなさんがくるのをとてもたのしみにまっています。きょうは、みんなでなかよくたのしみましょう。」と、始めの挨拶がありました。

そして、グループになる子があらかじめ決まっていたので、グループごとに体育館に広がって、自己紹介をしました。互いに、なかなか言い出せないグループもありましたが、そこはさすが1年生、自分から名前を言って、園児が言いやすいようにしてくれました。次は、「木こりと猟師」の言葉で、小鳥役の園児と木の役の1年生が動くゲームを楽しみました。「木こりが来たぞ。」の言葉で動くのは1年生、「猟師が来たぞ。」の言葉で動くのが園児、「嵐が来たぞ。」の言葉の時は、全員がシャッフルします。ここでも、なかなか動けない園児に声をかける1年生でした。



最後は、じゃんけん列車でした。この遊びは園児もやったことがあるようで、じゃんけんで勝った喜びの声と、負けた時の悔しさの音が、とっても楽しく体育館に広がりました。



1時間の交流の時間はあっという間に終わり、お手紙を園児に渡して、「また2学期に遊ぼうね。」と約束をして、交流会を終えました。保育園や幼稚園の先生の中には、自分たちがお世話になった先生方もいました。「すっかり、お姉さん・お兄さんだね。」「さすが1年生」とほめられた1年生は、また一回り大きくなったと感じました。

